

小樽ひき逃げ 犠牲者悼む 事件から1年 市長ら献花



【小樽】小樽市銭函で2014年7月、海水浴帰りの女性3人が死亡、1人が重傷を負った飲酒ひき逃げ事件の発生から13日で1年となるのを前に、同市の森井秀明市長らが10日、事故

現場で献花し、被害者の冥福を祈った。

森井市長は事故発生時刻に合わせた午後4時すぎ、小樽署の升田和宏署長や防犯ボランティア団体の市民ら約4人とおたるドリ

おたるドリムビーチ付近の事故現場で黙とうする森井市長（右端）ら

ームビーチ付近の市道を訪問。事故現場に臨時の献花台を設けて花束を手向け、1分間の黙とうをささげた。

森井市長は報道陣の取材

に「二度とこういう事故が起きないよう、市民と協力し、飲酒運転が重大な犯罪だという認識を多くの人に広めたい」と話した。

献花に先立ち、同市内の「おたるマリン広場」で再発防止を誓い合う「市民出動式」が開かれ、市民ら約300人が参加した。